

別記様式(第7条関係)

## 会 議 録

- 1 会議の名称 富士川町歴史文化施設資料館検討委員会
- 2 会議日時 令和3年10月21日(木) 15時30分から16時45分まで
- 3 開催場所 富士川町教育文化会館 3階会議室
- 4 出席者数 (1) 委員 7名  
(2) 事務局 7名(うち企画設計業者3名)
- 5 議題 施設のコンセプトについて  
施設名称について  
展示内容について
- 6 委員会内容
  - (1) 開会
  - (2) 委員長あいさつ
  - (3) 議事
    - ①施設のコンセプトについて
    - ②施設名称について
    - ③展示内容について
    - ④その他
  - (4) 閉会
- 7 発言の内容
  - ①施設のコンセプトについて  
設計者 資料館における、今回提案したコンセプトやキャッチコピーについて説明をする。

事務局 リードコピーに富士川舟運316年の歴史とあるが、舟運の終わりが考え方や研究者によって異なる。明確な数字より、300年という丸めた数

字の方が良いのではないかとと思うが意見を伺いたい。

委員 280年とも言われている。

委員 舟運会社が終わった時だと316年になるのか。終わりの考え方が異なるから300年にしたほうが良いのではないか。316年の根拠を聞かれた時に説明がし難い。

委員 資料館に学芸員を設置していただけるのか。

事務局 学芸員の配置については、今後検討していきたいと考えている。

委員 他に意見が無ければ300年に変更して提案通りのコンセプトとしてよいか。

委員 異議なし

## ②施設名称について

事務局 施設の名称について、資料館の施設名称を資料館検討委員会で決めていただき、施設全体の名称及び企画展示を予定しているスペースの名称について意見を賜りたいと説明する。

また、人物館検討委員会での施設総称と交流スペースの名称についての意見を伝える。

委員 総称については、塩の華という名前が定着しているので、事務局案の富士川町歴史文化館「塩の華」が良いと思う。

委員 総称については、富士川町歴史文化館「塩の華」でよいか。

委員 異議なし

委員 富士川舟運がメインの資料館になるので舟運は資料館名に入れたい。

委員 テーマがこの地が持つ繁栄と発展の記憶を呼び起こし未来へつなぐ施設とあり、他のコンセプト等を考えると少し長いかもしれないが、富士川舟運はってん・はんえい見聞館が良いのではないか。

委員 総称に歴史が入っているので、富士川舟運歴史館は名前が重なってしまうので良くないのではないか。

設計者 この富士川舟運はってん・はんえい見聞館という名称には、当時の歴史を知る人が少なくなっていることから、舟運時代の発展や繁栄を知り学び持ち帰ってもらいたいと考えている。これからロゴマークを作っていくので長さはそれほど気にならなくなると思う。

委員 資料館の名称は、富士川舟運はってん・はんえい見聞館でよろしいか。

委員 異議なし

委員 交流スペースの名称について意見はあるか。

委員 意見なし

事務局 意見が無いようであれば、人物館検討委員会で意見のあった企画展示室を第一候補として決定していくということによいか。

委員 異議なし

### ③展示内容について

設計者 資料館の順路や展示内容について説明する。

委員 シアターの時間はどの程度か。その間も周りの展示物を見ることはできるのか。照明がどうなるか。

設計者 シアターは1本4分程度で3本を予定しているので15分程度である。その間もスポットライト等の照明で展示物を見ることが出来る状況にはなっている。

委員 シアターを見ている人に周りの展示物見学者が邪魔にならないか、周りの展示物見学者にシアターの音が邪魔にならないか気にはなる。

委員 舟は床面にプリントされているのか。

設計者 現存する渡し舟を設置する予定である。

事務局 前回の検討委員会で、渡し舟ではなく高瀬舟を作成して展示したほうが良いという意見があった。しかし、原寸の高瀬舟では建物内に収まらないので縮尺を変えて展示したらどうかという意見もあった。今回、資料館検討委員会の意見を伺いたい。

設計者 高瀬舟の原寸は1.4mほどと聞いているので、原寸は入らない。縮尺を8割ぐらいの大きさ約1.1mにすると、シアターに対し横向きに設置することが可能である。そうするとシアター前がスッキリするので先ほど意見のあった、シアターと展示品それぞれに集中できるというメリットも考えられる。しかし、予算のことを考えると提案のとおり渡し舟を設置し、床面に高瀬舟の大きさを示し、比較してもらうというのが良いかと思う。ただ、実物の高瀬舟があるというのは展示の大きな目玉にはなる。

委員 高瀬舟を造るとなるといくらぐらいか。

事務局 身延町に展示されている原寸の60%大の高瀬舟を造った業者に聞いたところ、60%の大きさと税抜350万円ほどのようである。

委員 原寸の高瀬舟は畳8畳と言われるほど大きな物だった。

委員 原寸の60%の大きさの高瀬舟だと、今の渡し舟ぐらいの大きさになるのか。

事務局 長さは今の渡し舟と同じぐらいになるが、渡し舟のほうが高瀬舟に比べて横幅が広いので高瀬舟にした場合、今より細くなると思う。

委員 今の予算では、高瀬舟の作成は困難か。

事務局 困難である。

委員 できれば高瀬舟を造ってもらいたい。

事務局 資料館検討委員会の高瀬舟を作成したいという意向は了承した。予算のこともあるので事務局で検討することとさせていただく。

委員 目の前に富士川がある場所に資料館ができるということで大変素晴らしいと思う。県立博物館に河岸跡から発掘された資料が沢山展示されてあったが、三河岸の地元に整備されるこの資料館にどのようなオリジナリティが出せるか。現状どのような物があって、特徴的なものが収集されているのか。子ども達にとって展示される物の中身が重要だと思う。

事務局 富士川町には舟運関連の資料が多く残っており、先日視察に行ったかぐや姫ミュージアムで紹介されている舟運資料も提供元が富士川町になっている。それらの本物の資料が富士川町の資料館に行けば見ることができる。また、文化財になっている水行直仕形図絵は、この資料館の歴史監修者である村石先生から、この時代の土木工事の絵という資料は他にあまり存在せず、大変珍しいものであると言われているので、このような部分でオリジナリティが出せると考えている。

設計者 博物館には重要文化財のようなものが展示してあるが、舟運時代の生活用品も沢山所蔵しているので一つの特徴になるのかなと考えている。

委員 他の資料館にも当時の生活用品は結構あるので、富士川町の資料館としての特徴的な資料が展示できると良い。

委員 本日の資料の中に渡し舟の写真があるが、この写真の実物を展示するということか。

事務局 この資料の渡し舟は、鯉沢児童センターに展示されている渡し舟の写真で、この写真の実物を展示する予定である。

事務局 現在の所蔵、寄託予定資料について説明する。資料館内の壁面に展示されるパネルや年表に沿って関係する資料を展示していきたい。事務局案と

して展示したい資料を分類してあるので次回以降ご意見をいただきたい。

委員 富士川舟運の全体像がわかる図があると良い。小河内家にある絵図が全体像がわかって良い。複製でも展示できないだろうか。

事務局 昨年度、小河内様に撮影させていただき冊子としても発行した。ただ、静岡の岩瀬から富士川町の大柳川までの絵で三河岸が描かれていない。

委員 三河岸は別で描かれたのではないだろうか。小河内家には、青柳河岸を描いた絵もある。

事務局 舟運の全体像がわかる展示も検討していきたい。

## 8 閉会